

半歌仙 『少年の扉』

発句	少年の扉やわらかキリギリス	ぽぼな	初秋
脇	月の雫を両の掌に受け	真奈	三秋
第三	銀色の湯壺にさつと秋時雨	丹仙	晩秋
四	鱭耀かせ大河ゆく魚	笑	雑
五	遙かなる原始の森の声を聞く	重陽	雑
六	登山テントのランプ消したる	悦子	晩夏
ウ			
一	青林檎齧り大の字飛行場	梶	三夏
二	心に抱く眼に見えぬもの	丹仙	雑
三	火の言葉書きつらねては少し泣き	真奈	雑
四	返歌にしかと契る借老	重陽	雑
五	種々を展じ流るる平家琵琶	笑	雑
六	馬に鞭当て追うは凧	梶	初冬
七	サーカスの一座は去りて冬月夜	悦子	三冬
八	錬金術師王に捕わる	梶	雑
九	守護霊を呼びだす呪文何だつけ	丹仙	雑
十	とぎれとぎれに釣釜の湯気	笑	仲春
十一	ゆるぎなき才滾らせよ花万朶	重陽	晩春
拳句	祝杯を上ぐ春光の中	悦子	三春

くぼぼなさんの新人賞受賞を祝って

捌 真奈

平成二十二年九月二四日起首

十月 七日満尾